



8月30日

針刺し予防の日

8=はり3=さし0=ゼロ

針刺し事例による血液を介した感染症は、職員の命を脅かす恐れがある。

自分は注意をしても、誰かの「うっかり」

で被害を受けることもある。

だから、針刺し事例は**職場全体**で取り組み針刺し事例を防止するための環境を整え

「決められたことを全員が確実に実施すること」が大切です。

針刺し予防の原則

手袋装着

安全装置使用

携帯用感染性廃棄容器使用
刺したその手で廃棄
リキャップ禁止



「針刺し」から
職員（あなた）を
守るために

いつでも
どこでも
全員が
手順遵守

鋭利な器材の先端から
目を離してはいけない

病室で

使用前の注射器はトレイ等を使用し運搬
使用後は廃棄容器に入れトレイに戻さない

スタッフステーションで

廃棄容器は蓋を必ず閉める
廃棄容器は満杯になる前に空容器と交換し、整理整頓する

手術室で

チーム共同作業で安全に取り組む
レイアウトや鋭利器材の取り扱いを
チームで決め相互に声をかけ取り組む

夜間等の作業では

集中力が途切れないよう体調管理し
採血作業が集中する時間帯は慌てずに！

緊急患者の時

鋭利器材取り扱い時は冷静な行動を！
感染症未確認の場合もあるので慎重に！
チーム内での共同作業者の行動にも注意

検体の取り扱い

標準予防策を徹底し手指衛生、手袋装着
検体は直接手で触れない
乾燥した血液も感染性あり
目の保護も含め必要な个人防护具を着用

他人事じゃないYO本当にあった針刺し事例

【ペン型インスリン】

使用済みの注射針を廃棄していなかったために、次に使用した看護師の指に刺さった

【携帯容器の蓋】

蓋を開けたままにしていた携帯容器が弾みて転倒使用済針が足に刺さった

【翼状針と分注】

翼状針採血時に安全装置を確実に作動させなかったために、ガードができておらず、分注を任せる

為に手渡した時に他の看護師の指に針が刺さってしまった

【手術室での事故】

- 器材の受け渡し時にメス刃で切創
- 縫合中に声掛けがあり縫合針から目を離れたため刺さった
- 片付け時に針を手をもって廃棄した

万が一に備えてB型肝炎ワクチンの接種を推奨します

ひと呼吸の原則：あわてない！冷静に、とりかかる前の深呼吸

一瞬の無意識な行動、作業終了間際の気のゆるみなどで事故は起こりやすいため注意が必要です